

J-SLA ニュース・レター 2016 年 2 月号

立春とは名ばかりの寒さが続いております。J-SLA 会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。今回のニュース・レターは PacSLRF 2016、中央大学での公開研究会、初夏の研修会についてお知らせします。

お知らせ(1) : 2016 年度 PacSLRF 口頭発表・ポスター発表・コロキウム・学生ワークショップ採択結果通知

厳選な査読の結果、PacSLRF 2016 での発表者が決まりました。発表申込みをされた方には 1 月 31 日に採択結果の通知をメールでお送りしております。以下、応募件数と採択件数の一覧です。

PacSLRF2016 査読結果

	応募件数	採択件数
コロキウム	14	14
口頭発表	179	99
ポスター発表	28	26
		51 (口頭発表からポスター発表へ変更)
学生ワークショップ	12	12
計	233	202

お知らせ(2) : PacSLRF 2016 参加申し込み受付開始日の変更

オンラインでの参加申し込み開始日は 2 月 21 日を予定しておりましたが、諸般の事情により **3 月 1 日(火)**に変更させていただきます。皆様にはご不便をおかけしますが、何卒ご了承ください。

お知らせ(3) : 言語の理解と産出チーム 公開研究会

中央大学において以下のテーマで公開研究会を開催いたします。どなたでもご参加いただけますので、興味がある方をお誘いの上、みなさま奮ってご参加ください。

日時 : 2016 年 3 月 6 日(日)

テーマ : 「日本における言語教育・学習の課題」

会場 : 後樂園キャンパス 3300 教室 (地下鉄「後樂園駅」から歩いてすぐです)

8:45-9:15 受付

9:15-10:45 パネルディスカッション「言語習得・言語学習者から言語教育を考える」

司会進行 若林茂則 (中央大学)

提案者・パネリスト

狩野暁洋 (活水女子大学) 「第二言語習得・使用の本質とは何か」から考える

柴田美紀（広島大学） 「第二言語で話している私は誰か」 から考える

稲垣俊史（名古屋大学） 「どうすればできるようになるか」 から考える

11:00-12:30 「海外大学との協働での新しい取り組み」

提案・司会進行 若林茂則（中央大学） 「中央大学文学部における新しい取り組み」

◎中央大学 SEND プログラム（日本語教育）

（イギリスと太平洋地域への 2 回の留学を含む 4 つのステージで構成されるマルチプル留学プログラム）

◎文学部スキルアップ外国語科目 Advanced Communication

（オーストラリア国立大学とのタンデム形式でのチャットとフィリピン大学との TED 方式のビデオ発表とディスカッションによる授業）

◎文学部グローバル・スタディーズ

（ハワイ大学、タマサート大学、マレーシア工科大学との共同研究発表会を含む海外研修）等の 2014 年度、2015 年度の実例の紹介と、言語教育についての理論的・実証的・実践的な考察

12:30 終了

*参加費無料

*事前申し込み不要

*発表言語：日本語（質疑応答は英語可）

お知らせ(4)：2016 年度「初夏の研修会」

日時：2016 年 6 月 19 日(日) 10:30-17:00

場所：京都女子大学

招待講演者：

講演 1 石川慎一郎氏（神戸大学）

「学習者コーパスと SLA 研究：L2 運用の可視化を目指して」

講演 2 柴田美紀氏（広島大学）

「第二言語習得、英語教育、リンガ・フランカ英語の視点から再考する英語ネイティブの役割」

講演 3 尾島司郎氏（滋賀大学）

「人工文法学習パラダイムと言語習得研究」

*参加費：一般／学生、会員／非会員に関わらず、1,000 円

*事前申し込み不要

*発表言語：日本語（質疑応答は英語可）

柴田美紀

J-SLA 事務局

問い合わせ先：shibatam@hiroshima-u.ac.jp